茅ヶ崎市立鶴が台中学校　学校だより　　令和８年１０月９日

鶴が台 ～若き心　集まるところ～　No.7

茅ヶ崎市立鶴が台中学校長　髙澤　誠

前期を振り返り、後期の目標を考える～前期終業式

１０月９日（金）で前期が終了します。夏休みが終わり、学校が再開されてあっという間の４０日間でした。期末テスト、生徒会本部役員選挙、合唱練習、個人面談などがあり、部活動では新人戦も始まりました。今年度も半分が終わります。ちょうど折り返し地点に来ました。前期終業式にあたり、私から生徒に次の話をしました。

先日、地域の方が学校に来校され、私にお話をされました。昨日、小学生が友達と待ち合わせをしていたが、その場所が分からず不安な様子で歩いていました。地域の方がその小学生に声をかけたが、場所が分からず困り果てていたそうです。そこへ帰宅途中の台中生が通りかかり、尋ねたところ、優しく声をかけ、案内してくれたそうです。「困っている人に親切にする」ことは道徳などで学習して皆分かっていると思いますが、いざ行動に移すとなるとなかなか難しいものです。この行動は、とても素晴らしいことだと思います。そのような台中生がいることを誇りに思います。

このあと、担任の先生から皆さんに前期の通知票が渡されます。今年は個人面談が既に行われ、担任の先生から各教科の評価について説明があったと思います。皆さんが気にしているところは、各教科の成績だと思います。どうしても、その5段階の数字の評定が気になってしまうかもしれません。でも、通知票の成績が皆さんの全てを示しているものではありません。皆さんには、一人ひとり性格や得意なことなど良い面があります。これは、数字で示すことはできません。また、成績は、他の人と比較するものでもありません。もし比較するとしたら、これまでの自分と比較してください。通知票の各教科の成績は、各教科の先生方が、授業での学習を通して、「このくらいの力を身につけてほしい」という目標に対して、どこまでできたかという、途中経過を知らせ、次の目標を立てるために示すものです。数字の評定だけ見て一喜一憂するのではなく、各観点の評価や、面談で伝えられた、これからの課題をしっかりと受け止めて、新たな目標を立ててください。努力はしたけど、上手くいかないことや、失敗してしまうことは誰にでもあることです。でも、大切なことは、自分でその原因を考え、改善することだと思います。同じ失敗を繰り返さないために行動していくことが成長につながります。まだ折り返し地点です。これから取り返すチャンスはあります。失敗は成長をするためのチャンスととらえてください。でも、どこをどうしたらよいかわからないという人は、先生に相談してみてください。台中の先生方は、皆さんに寄り添い一緒に考えてくれるはずです。

明日から5日間の短い休みを挟んで、後期が始まります。皆さんが、新たな目標を立て、笑顔で後期のスタートを迎えてくれることを期待しています。

新しい生徒会本部役員を選ぶ

９月２４日（木）に生徒会本部役員選挙が行われました。５校時に体育館で立ち会い演説会を行い、その後、各教室で投票をしました。生徒会選挙は、民主主義の仕組みを肌で体験し、学校生活の主体者としての意識を育てることを目的に行っています。選挙の公示が８月３１日にされ、立候補者は１年生が定数３名に対して３名、２年生は定数４名に対して４名でした。選挙はどちらも信任投票となりました。鶴が台中学校を「より良い学校にしたい」、「そのために自分の力を発揮したい」という気持ちで７名の生徒が立候補しました。その勇気を称えたいと思います。朝の選挙運動の様子を見ていて、とて

立ち会い演説会の写真

もすがすがしく、「頑張れ」と心の中で応援していました。当日の立ち会い演説会では、生徒は皆、真剣に立候補者の話を聴いていました。これは、立候補者や応援弁士の気持ちが伝わったことと生徒の皆さんが台中をより良くしてくれる人を選ぶという気持ちが重なったと私は思います。

投票の結果、7名とも生徒会本部役員として信任されました。おめでとうございます。同時にこれからの行動に期待しています。生徒の皆さんは、選んだ責任があります。この後、各委員会の委員が決められていきます。どんな形で台中生徒会を作っていくか、協力していくかを考えていきましょう。

自分も相手も大切に～性教育講演会

9月17日（木）に茅ヶ崎市保健所保健師さんのご協力を得て、性教育講演会を実施しました。中学生は第二次性徴期を迎え、心や体に大きな変化が見られる時期です。この大切な時期に、「性＝命」という視点から自分の体を知り、「自分のことも相手のことも大切にする」意識を育むことは非常に重要です。今回の性教育講演会では、1年生から3年生までの発達段階に応じて内容を分け、段階的に理解を深めていけるようにしていただきました。成長への理解を深め、命の尊さや他者への思いやりについて考える時間となりました。講演会を終えて、生徒の振り返りから一部掲載しました。

性教育講演会の写真

- **自分が3億分の1の確率で生まれるということを知り、妊婦さんの体験や育児されているお母さんの大変さが分かりました。**
- **性的同意とは、相手が同意しないと体にふれることができないというのを学びました。**
- **今まで性教育に関しては、なんとなく気まずくて、目をそむけてきていましたが、講演会で性とは命の誕生に関わることでわたしが今ここにいるのもそのおかげであることに気づかされました。**
- **自分の気持ちや感情を相手に伝えることは大切だけど一方的になってしまうと、相手をしばってしまうんだと思った。**
- **デートDVは、相手の時間を制限したり暴力をしたりするひどいことだと感じました。**
- **プライベートパーツでは、体の大事な部分は他人には触らせないといことについて学べました。**
- **バウンダリー（境界線）は、人によって違うことを理解して人に接することが大切。**
- **お互いに意見を伝えあい、受け止めることで対等な関係になれるよう行動していきたいなと思いました。**
- **自分が生まれてこれたことはすごいことだと改めて感じたので産む決断をしてくれた母親に感謝を持って生きていこうと思いました。**
- **これから社会に出て行き心も身体も変わりゆく中、今回教えてもらった内容を生かして、誰かを傷つけることなく幸せな世界にするために一層頑張ります。**

お知らせ

- 今年度の卒業証書授与式は、<u>令和9年3月10日（水）午前</u>に実施することとなりました。
- 9月からＡＬＴとして、［　　］さんが英語の授業で来校しています。

教頭先生のつぶやき・・ **職員室にいると地域を含めいろいろな方から電話を受けることがあります。時には、お叱りを受けることもありますが、褒めていただくこともあります。例を挙げると、車に乗った方が横断歩道で停まっていると、運転手の方に向かって深くお辞儀をしてお礼を言ってくれたことなど地域の方からお褒めの連絡を受けています。お叱りであっても、連絡をいただけるということは、改善へのチャンスをもらったと思っています。できれば褒めてもらえる機会が増えるとうれしいですね。**